

# 日本社会福祉学会第 59 回秋季大会報告

第 59 回秋季大会事務局 淑徳大学 渋谷 哲

日本社会福祉学会第 59 回秋季大会が、2011(平成 23)年 10 月 8 日(土)と 9 日(日)に淑徳大学千葉キャンパスで開催されました。天気にも恵まれ無事に開催することができましたが、キャンパスが狭いために、ゆっくりとお休みになられる場所が少なく、シンポジウムや研究発表の教室が手狭であったことをお許しください。2 日間の参加者数ですが、事前参加申込者が 678 名、当日受付参加者が 331 名と、合計 1,009 名でありました。

大会総合テーマを「ソーシャルワークの本質を考える一原理的な問いと実践力を創り出すもの一」としました。社会経済環境が激変し、人びとの生活様式や意識の変化が顕著になるなかで、ソーシャルワークの対象とする課題もまた多様化、複雑化の度を深めています。新たな問題への適切な対応はもとよりのこと、今、問われているのは、ソーシャルワーカーがどのような価値に基づき、何を大切にしていくなすべきかを明確にすることではないかと思ひ、このようなテーマといたしました。

そこで、開催校企画シンポジウムでは「ソーシャルワーク教育における実践力養成とは—医学・看護学・社会福祉学における基礎と臨床教育—」をテーマに 3 名の方から発題をいただきました。専門職の養成に関して長い歴史と蓄積のある医学・看護学教育に学びながら、それぞれの学問としての固有性と臨床における実践力の養成といった共通の課題から、ソーシャルワーク教育における実践力養成の課題に触れることができたと思います。記念講演で、さわやか福祉財団理事長の堀田 力氏に「ソーシャルワーカー 一誰のために、何をつくるのか—」と題して講演いただいたのも、このような思いに基づくものでした。

また、震災に関する取り組みを学会理事会と検討し、「提言：震災で問われる社会福祉学の役割—原理と実践の探究—」というテーマでのシンポジウム(5 演題)の開催、国際学術シンポジウムはテーマを「日中韓における文化多様性と社会福祉の課題」として、6 名の方から発題をいただきました。特定課題セッションは 5 分科会(15 演題)、自由研究発表は 50 分科会(224 演題)、ポスター発表(62 演題)が報告され、2 日間にわたって各会場で活発な研究討議がなされました。

こうした大会運営を通しての反省点も数多くあります。改善案を含めて第 60 回秋季大会の開催校である関西学院大学への引き継ぎをいたしました。来年度の大会に向けて会員皆様にもご協力いただきたい事項がいくつかございます。

## 1. 事前参加申込みと同時に、参加費の納付をお願いします

8 月 26 日の事前参加申込み締切日現在、申込み者 506 名のうち参加費の未納者が 163 名(納付率 68%)でした

9 月 30 日現在、発表者 301 名のうち「事前参加申込みなし(参加費の未納)」が 15 名おりました

## 2. 自由研究発表・ポスター発表の申込み者は「辞退」がないよう事前準備をしてください

今回、最終的に 19 名の方から発表辞退がありました。直前の健康上の理由によるものはいずれもありませんが、例年と比較しても辞退者が多数でした。

## 3. 発表要旨の書式は大会案内の例示に従ってください

大会案内には「応募ページから Word ファイルをダウンロードして、その Word 形式のまま原稿を作成(上書き)して下さい」とお願いしましたが、上書きで作成していない

原稿が多かったです。そのため4項目の分量(行数)にバラツキがあり、全体の文字数が多いのもありました。事務局では7月26日から要旨修正依頼を始め、最終的には9月3日までかかってしまいました。

#### 4. 学会への「メールアドレス登録」をお願いします

今回は「大会事務局からのお知らせ」「プログラム公開のお知らせ」等をメールにて対応しましたが、全会員のうち「メアド登録なし」(郵送希望者を除く)が約1300名いるために、事務局からのお知らせが届かない会員がおりました。学会からの通信を「郵送希望」としていない方はメールアドレスの登録をお願いいたします。

昨年度の大会より自由研究発表に討議時間として「総括コメント」を設けました。また、本大会では多くの大学院生に参加して頂くために参加費を値下げしましたが、この予算を確保するために大会直前の「ご案内」送付を取りやめました。参加者の皆様にはご不便をおかけした点多かったかと思えます。誠に申し訳ありませんでした。なお、大会参加者数ですが、一昨年度の法政大学1294名、昨年度の日本福祉大学1161名、今年度1009名と100名ずつ減少しております。学会活動の活性化のためにも多くの参加をお願いします。